令和7年度前期　学校評価アンケート集計結果（保護者編）

NO.	設問内容	肯定	否定	A	B	C	D
1	お子様は夢や目標に向かって努力していますか。	72	28	23	49	19	9
		70	30	22	48	25	5
2	お子様は定期テストに向けて十分な復習ができたと思いますか。	45	55	10	35	35	19
		46	54	11	36	40	14
3	お子様は毎日、家庭学習（宿題を含む）をしていますか。	53	47	20	33	27	20
		60	40	23	37	26	14
4	お子様は学校行事に一生懸命取り組んでいますか。	91	9	59	32	6	3
		92	8	55	37	5	3
5	学校の部活動は充実していると思いますか。	71	29	30	40	19	10
		77	23	37	39	15	9
6	学校は安全に配慮し、事故防止に努めていると思いますか。	85	15	24	61	9	6
		91	10	23	67	9	1
7	学校は学力が身につくように、分かる授業をしていると思いますか。	71	29	11	60	23	7
		73	27	9	64	24	3
8	学校は家庭学習が習慣化に向けて、適度の宿題を出したり、小テストを行ったりするなどの工夫をしていると思いますか。	61	39	11	50	33	5
		64	36	9	55	31	5
9	学校は授業や様々な活動において、効果的にICT機器を活用していると思いますか。	68	32	12	56	27	5
		69	31	9	59	29	3
10	学校は生徒の活動に対して、適切な評価ができていると思いますか。	80	20	13	67	15	5
		82	18	14	69	15	2
11	学校は生徒理解に努め、1人ひとりの良さを伸ばすために個性に応じ支援していると思いますか。	65	35	12	53	24	11
		70	30	11	59	27	4
12	学校は生徒の悩みや心の変化に対する教育相談を適切に行っていると思いますか。	73	27	11	62	18	9
		71	29	10	61	26	4
13	学校は生徒同士のトラブルやいじめ等に対して、適切な対応をしていると思いますか。	67	33	10	57	21	12
		73	27	10	63	23	4
14	学校行事は充実していると思いますか。	89	11	33	57	9	2
		91	9	27	64	8	1
15	学校のホームページや学校・学年だより等は、分かりやすく適切であると思いますか。	84	16	29	55	13	3
		86	14	22	63	12	2
16	生徒は明るいあいさつができていると思いますか。	74	26	24	50	23	3
		80	20	22	58	18	2
17	生徒は思いやりの気持ちをもち、友達と仲良く学校生活を送っていると思いますか。	86	14	25	61	10	4
		91	9	28	63	8	1
18	生徒は弱い立場や自分と違う立場の人を差別したり、馬鹿にしたりしていないと思いますか。	74	26	20	54	19	7
		85	15	26	59	11	5
19	あなたの家庭では、スマートフォンや携帯電話等を使用する際の約束事を決めていますか。	78	22	33	45	16	6
		82	18	24	58	16	2
20	あなたは学校の教育活動やPTA活動に積極的に協力していますか。	40	60	6	34	42	19
		51	49	4	47	35	14

＊上段が令和7年度、下段が令和6年度の集計結果です。
＊A:「そう思う」、B:「どちらかと言えばそう思う」、C:「どちらかと言えばそう思わない」、D:「そう思わない」

令和7年度前期　学校評価アンケート集計表（生徒編）

NO.	設問内容	肯定	否定	A	B	C	D
1	学校生活は楽しいですか。	92	8	61	31	6	2
		92	8	50	43	6	2
2	授業は集中して受けられましたか。	82	18	28	54	14	4
		88	12	25	63	11	2
3	学習に関してわからないことを解決するため、自ら行動すること（調べたり、教え合ったり）ができましたか。	83	17	34	49	13	4
		84	16	29	55	13	3
4	家庭学習の習慣が身についていますか。	64	36	31	33	23	13
		72	28	32	40	22	7
5	課題や宿題は忘れずに取り組めましたか。	74	26	36	38	16	10
		80	20	34	47	16	4
6	定期テストに向けて計画的に学習することができましたか。	62	38	22	40	28	10
		65	35	18	47	27	8
7	授業や様々な活動において、効果的にICT機器を活用できていますか。	82	18	31	51	14	4
		87	13	28	59	12	2
8	自分から明るく挨拶ができましたか。	86	14	48	38	11	3
		89	11	44	45	9	2
9	思いやりをもって友達に接することができましたか。	95	5	52	43	3	2
		95	5	49	47	3	2
10	弱い立場や自分と違う立場の人を差別したり、相手をばかしたりするような言動をしていませんか。	88	12	51	38	7	5
		93	7	61	32	6	1
11	決まりを守り、遅刻などせず、規則正しい生活ができましたか。	90	10	54	35	6	5
		92	8	52	39	6	2
12	いじめは絶対に許さないという態度をとることができましたか。（いじめをしない、させない、許さない）	91	9	52	39	7	2
		91	9	52	39	7	2
13	委員会や係活動に責任をもって取り組めましたか。	94	6	64	30	4	2
		94	6	59	36	6	1
14	清掃活動に責任をもって取り組めましたか。	92	8	52	40	5	3
		91	9	35	57	8	1
15	歌声活動に積極的に取り組めましたか。	93	7	62	31	5	2
		93	7	60	33	6	2
16	体育祭を充実したものにすることができましたか。	95	5	68	26	3	3
		96	4	78	18	2	2
17	部活動は充実していますか。（部活動に所属している人だけ回答してください。）	89	11	64	25	6	5
		87	13	61	26	7	6
18	家の人とスマートフォンや携帯電話等を使用する際の約束事を決めていますか。	74	26	45	29	14	12
		71	29	40	31	17	12

＊上段が令和7年度、下段が令和6年度の集計結果です。

＊A：「そう思う」、B：「どちらかと言えばそう思う」、C：「どちらかと言えばそう思わない」、D：「そう思わない」

令和7年度前期　学校評価アンケート集計結果（教職員編）

NO.	設問内容	肯定	否定	A	B	C	D
1	学校は、安全配慮を行い、事故防止に努めている。	100	0	48	52	0	
		100	0	78	22	0	
2	学校の施設・設備は清潔で、教育環境を整備している。	96	4	33	63	0	4
		100	0	50	50	0	
3	学校は、発問を工夫し課題を解決する態度と技能を身につけさせたり、教え合いを取り入れたりしながら、学力が身につく授業を行っている。	93	7	37	56	7	0
		100	0	74	26	0	
4	学校は、家庭学習が習慣になるよう適度の宿題を出したり、小テストを行ったりするなどの工夫をしている。	78	22	22	56	15	7
		90	10	26	65	10	0
5	学校は、授業や様々な活動において、効果的にICT機器を活用している。	96	4	33	63	4	0
		97	3	48	48	3	0
6	学校は、生徒の活動に対して、適切な評価、勇気づけをしている。	96	4	59	37	0	4
		100	0	59	41	0	
7	学校は、生徒の悩みや心の変化に対する教育相談を行っている。	100	0	59	41	0	
		100	0	59	41	0	
8	学校は、生徒同士のトラブルやいじめ等に対して、適切な対応をしている。	96	4	63	33	0	4
		100	0	66	34	0	
9	学校は、保護者や地域の方々の力を学校教育に生かしている。	78	22	11	67	19	4
		91	9	25	66	9	0
10	学校のホームページ、たより等は、わかりやすく時期も適切である。	100	0	85	15	0	
		100	0	84	16	0	
11	体育祭は充実している。	96	4	67	30	0	4
		100	0	94	6	0	
12	不祥事の根絶に向け、モラールアップ研修に積極的に取り組み、意識高揚に努めている。	96	4	67	30	4	0
		97	3	50	47	3	0
13	部活動を充実（計画的に　子供の実態に応じて　子供の意欲を向上させる等）させている。	93	7	22	70	4	4
		97	3	47	50	0	3
14	生徒は、定期テストに向けて復習ができている。	37	63	4	33	56	7
		61	39	13	48	32	7
15	生徒は、明るい挨拶ができている。	67	33	15	52	26	7
		91	9	19	72	9	0
16	生徒は、思いやりの気持ちを持ち、友達と仲良く学校生活を送っている。	89	11	15	74	11	0
		94	6	16	78	6	0
17	生徒は、弱い立場や自分と違う立場の人を差別したり、馬鹿にしたりしない。	59	41	7	52	37	4
		88	13	13	75	13	0

＊上段が令和7年度、下段が令和6年度の集計結果です。

＊A:「そう思う」、B:「どちらかと言えばそう思う」、C:「どちらかと言えばそう思わない」、D:「そう思わない」

令和7年度前期　学校評価アンケート（属性比較編）

NO.	属性	設問内容	肯定	否定	A	B	C	D
1	保護者	（生徒はor自分から）明るい挨拶ができている。	74	26	24	50	23	3
	生徒		86	14	48	38	11	3
	職員		67	33	15	52	26	7
2	保護者	（生徒はor自分は）弱い立場や自分と違う立場の人を差別したり、馬鹿にしたりしない。	74	26	20	54	19	7
	生徒		88	12	51	38	7	5
	職員		59	41	7	52	37	4
3	保護者	（生徒はor自分は）思いやりの気持ちを持ち、友達と仲良く学校生活を送っている。	86	14	25	61	10	4
	生徒		95	5	52	43	3	2
	職員		89	11	15	74	11	0
4	保護者	あなたの家庭では、スマートフォンや携帯電話等を使用する際の約束事を決めている。	78	22	33	45	16	6
	生徒		74	26	45	29	14	12
5	保護者	（学校は）学力が身につくように、分かる授業をしていると思う。 （自分は）授業を集中して受けられていると思う。	71	29	11	60	23	7
	生徒		82	18	28	54	14	4
	職員		93	7	37	56	7	0
6	保護者	学校は家庭学習の習慣化に向けて工夫をしていると思う。	61	39	11	50	33	5
	職員		78	22	22	56	15	7
7	保護者	（お子様・自分・生徒は）定期テストに向けて十分な復習ができたと思う。	45	55	10	35	35	19
	生徒		62	38	22	40	28	10
	職員		37	63	4	33	56	7
8	保護者	（お子様・自分は）毎日、家庭学習（宿題を含む）をしていると思う。	53	47	20	33	27	20
	生徒		64	36	31	33	23	13
9	保護者	学校行事は充実していると思う。	89	11	33	57	9	2
	生徒		95	5	68	26	3	3
	職員		96	4	67	30	0	4
10	保護者	学校の部活動は充実していると思う。	71	29	30	40	19	10
	生徒		89	11	64	25	6	5
	職員		93	7	22	70	4	4
11	保護者	学校は安全に配慮し、事故防止に努めていると思う。	85	15	24	61	9	6
	職員		100	0	48	52	0	
12	保護者	学校は生徒の活動に対して、適切な評価ができていると思う。	80	20	13	67	15	5
	職員		96	4	59	37	0	4
13	保護者	学校は生徒の悩みや心の変化に対する教育相談を適切に行っていると思う。	73	27	11	62	18	9
	職員		100	0	59	41	0	
14	保護者	（学校・自分は）生徒同士のトラブルやいじめ等に対して、適切な対応をしていると思う。	67	33	10	57	21	12
	生徒		91	9	52	39	7	2
	職員		96	4	63	33	0	4
15	保護者	学校は授業や様々な活動において、効果的にICT機器を活用していると思う。	68	32	12	56	27	5
	生徒		82	18	31	51	14	4
	職員		96	4	33	63	4	0
16	保護者	学校のホームページや学校・学年だより等は、分かりやすく適切であると思う。	84	16	29	55	13	3
	職員		100	0	85	15	0	

令和７年度前期　学校評価アンケート　考察

Ⅰ　保護者編

（１）肯定的な回答が多かった項目

□「学校行事への取り組み」は肯定的な回答が９０％となりました。学校行事に対する生徒の積極的な姿勢がうかがえる結果であり、保護者の皆様にも一定の評価をいただけたものと受け止めています。学校行事は教育活動の中で大切な役割を果たしており、今後も特色や雰囲気づくりに努めてまいります。

□「学校行事の充実度」は肯定的な回答が８９％となりました。行事の内容や運営について、保護者の皆様に概ね満足いただけていることをありがたく感じています。今後もこの良さを大切にしながら、さらに多様な体験を提供できるよう工夫してまいります。

□「生徒の思いやりと人間関係」は肯定的な回答が８６％となりました。友達との良好な関係や思いやりのある態度が評価されていることは、学校生活の健全さを示すものと考えています。こうした環境が学習意欲や安心感につながるよう、引き続き丁寧に取り組んでまいります。

（２）否定的な回答が多かった項目

□「保護者の学校・ＰＴＡ活動への協力」は否定的な回答が６０％となりました。保護者の皆様のご協力が難しい状況があることがうかがえます。働き方や生活スタイルの多様化を踏まえ、負担を軽減できる仕組みや、参加方法などに柔軟性をもたせられるよう、参加方法を検討していく必要があると感じます。

□「定期テストに向けた復習」は否定的な回答が５５％となりました。学習習慣の定着に課題があることが示唆されています。今後は、家庭学習の支援や学習計画の指導をより丁寧に行い、保護者の皆様との連携を深めながら改善に努めてまいります。

□「家庭学習の実施状況」は否定的な回答が４７％となりました。宿題や家庭学習の習慣化が十分でない生徒が一定数いることがうかがえます。学校としては、宿題の質や量の工夫、学習習慣を促す仕掛けを検討し、家庭への啓発も進めていきたいと考えています。本校の研究をさらに推進するとともに、学習委員会を中心とした家庭学習への取り組みも継続してまいります。

（３）経年比較（２０２４年度との比較）

□今回のアンケートでは、前年と比べて肯定的な回答が減少した項目が多く見られました。平均の肯定率は約４ポイント低下し、特に「学校・ＰＴＡ活動への協力」「人権・思いやり」「家庭学習の定着」などで大きな変化がありました。一方で、「夢や目標に向かって努力している」「教育相談が適切である」など、改善が見られた項目もあります。

□「学校行事への取り組み」に関する項目は引き続き高評価で、保護者の安心感が維持されています。行事の充実度は９０％前後の肯定率を保っており、学校の特色として評価されていると感じます。

□「分かる授業」や「ＩＣＴ活用」を含む「授業の分かりやすさや学力の保障」に関する項目については前年とほぼ同水準ですが、やや肯定率が下がる傾向があります。授業改善やＩＣＴの効果的な活用について、引き続き工夫を重ねてまいります。

□「適切な教育相談」に関する項目では肯定的な回答が増加したものの、「個性に応じた支援」に関する項目では否定的回答が微増しています。さらなる相談体制の確立に加え、生徒の多様なニーズに応える体制を整備し、生徒１人ひとりの個性に応じた支援を強化してまいります。

□「挨拶」「思いやり」「差別しない」などの「生徒の人間関係・態度」に関する項目で評価が低くなった要因の一つとして、子ども同士の関係性や日常の挨拶など、以前より細やかな視点で評価されるようになったことが背景にあるかもしれません。ＳＮＳ上でのやり取りや多様性への対応など、学校外や社会的な要素も保護者の判断に影響している可能性があります。学校としては、人権や思いやり、あいさつなどの基本的な生活習慣や人間関係づくりについて、教育活動全体の中で一層重視していく必要があると思われます。子どもたちが互いを尊重し、安心して過ごせる環境を維持するため、学級活動や学校行事を通じて、協力やコミュニケーションを育む機会を継続的に設けていきたいと考えます。また、情報モラルや多様性への理解を深められるよう、学校と家庭が連携した取り組みを進めてまいりたいと考えます。

□「部活動の充実」に関する項目で、前年度より肯定的な回答が減少しました。部活動地域展開など、指導体制や運営方法の変化などが保護者の満足度に影響した可能性があります。生徒たちの活動が充実したものとなるようサポート体制を整えるとともに、市教育委員会等と連携をしながら情報発信に努めてまいりたいと思います。

□「スマホ利用のルール」や「ＰＴＡ活動への協力」などの「保護者の協力・家庭の取り組み」については前年より協力意識が低下しました。今後も家庭との連携や啓発活動の工夫を進めてまいります。

2　生徒編

（１）肯定的な回答が多かった項目

□「思いやりをもって友達に接する」に関連する項目では、肯定的な回答が９５％となりました。人間関係の良好さは学校生活の基盤であり、いじめ防止や安心感の醸成につながります。こうした結果は、日々の取り組みが一定の効果を上げているものと受け止めていますが、引き続き子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

□「体育祭の充実」については肯定的な回答が９５％となりました。体育祭は学校全体の一体感を高める大切な行事であり、この評価は、生徒の満足度や達成感を示すものと考えています。今後も、協働的な活動をさらに工夫し、より充実した行事となるよう努力してまいります。

□「委員会や係活動への責任感」に関連する項目では肯定的な回答が９４％となりました。生徒の主体性や責任感が育っていることは、学校文化の成熟を示す大切な要素です。こうした取り組みを継続し、活動の意義をより明確にしながら、子どもたちが達成感を得られるよう工夫を重ねてまいります。

（２）否定的な回答が多かった項目

□「定期テストに向けた計画的学習」に関連した項目で否定的な回答が３８％となりました。計画的な学習が難しい生徒が一定数いることがうかがえます。学力向上のためには、学習計画の立て方や時間管理の工夫が重要です。今後は、こうした指導をより丁寧に行うとともに、ＩＣＴを活用した学習支援の方法も検討してまいります。

□「家庭学習の習慣」に関連する項目では否定的な回答が３６％となりました。家庭学習（自主的な学習）の習慣が十分に定着していない状況が見られます。基礎学力の定着に向けて、宿題の質や量の工夫を進め、保護者の皆様との連携をさらに深めながら改善に努めてまいります。

□「課題・宿題の取り組み」に関する項目では否定的な回答が２６％となりました。宿題の忘れや取り組みの不十分さが課題として示されています。今後は、チェック体制やフィードバックの工夫を重ね、子どもたちが達成感をもって学習に取り組めるよう支援してまいります。

（３）経年比較（２０２４年度との比較）

□今回のアンケート結果では、全体的に高い肯定率を維持していますが、学習習慣や授業への集中に関する項目でやや低下が見られました。特に「家庭学習の習慣」や「課題・宿題への取り組み」では減少幅が大きく、学習面での自己管理力に課題があることがうかがえます。また、「授業への集中」や「ＩＣＴ活用」も前年より低下しており、学習環境や授業の工夫が求められます。

□一方で、「スマートフォン利用の約束」や「部活動の充実」については改善傾向が見られ、生活習慣や学校活動への満足度は一定の向上が確認できます。今後も、学習習慣の定着と授業改善に取り組むとともに、保護者の皆様と連携しながら、生徒のより良い学校生活を支えてまいります。

３　教職員編

（１）肯定的な回答が多かった項目

□「安全配慮」に関する項目で肯定的な回答が１００％となりました。学校の安全管理や事故防止への取り組みが一定の成果を上げているものと受け止めています。今後も、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

□「教育相談」に関する項目で肯定的な回答が１００％となりました。生徒の心の変化や

悩みに対応する相談体制について、多くの教職員が肯定的に評価をしています。教育相談や日頃の生徒とのコミュニケーションに対する教職員の意識が高いことを示す結果と考えていますが、引き続き、子どもたちの気持ちに寄り添った対応を心がけてまいります。

□「情報発信（ホームページ・たより）」で肯定的な回答が１００％となりました。特にホームページにおいては情報の分かりやすさやタイムリーであることを学校として重視しております。保護者の皆様とのコミュニケーションを大切にし、今後もより分かりやすく、必要な情報をお届けできるよう工夫してまいります。

（２）否定的な回答が多かった項目

□「定期テストに向けた復習」に関する項目では否定的な回答が６３％となりました。学習習慣の定着に課題があることがうかがえます。今後は、計画的な学習指導を強化し、保護者の皆様との連携を深めながら改善に努めてまいります。

□「差別しない態度」に関する項目で否定的な回答が４１％となりました。人権意識の向上に向けた取り組みを日常的かつ継続的に実施しているところですが、なかなか結果につなげるのが難しいことを物語っています。道徳教育や人権教育をさらに丁寧に進め、子どもたちが互いを尊重し合える環境づくりに努めてまいります。

□「挨拶」に関する項目で否定的な回答が３３％となりました。基本的な生活習慣の確立という点において、まだまだ課題があることがうかがえます。学校全体で挨拶を大切にする雰囲気づくりを進め、日常の中で自然に身につくよう全教職員で取り組んでまいります。

（３）経年比較（２０２４年度との比較）

□今回のアンケート結果では、学校運営に関する項目は全体的に高い評価を維持していますが、一部で顕著な低下が見られました。

□「安全への配慮」「教育相談」「ホームページの適切さ」などの「学校運営・安全面」は引き続き高評価で、学校の基本的な安全管理や情報発信に対する信頼が保たれていると感じます。

□「学力が身につく授業」や「家庭学習の習慣化」などの「授業・学習支援」に関しては前年より低下しており、授業改善や学習習慣の定着に向けた継続的・粘り強い取り組みが必要であると考えます。

□「保護者や地域の力を生かす」は大きく低下しており、改めて地域との連携を強化することが今後の課題となります。

□「定期テストの復習」「挨拶」「差別しない態度」など、生徒の「学習習慣や人間関係」に関する項目で大きな低下が見られました。これらは重要な課題であり、学習面と生活面の指導を一層充実させていく必要性を全教職員で共有してまいります。

4　属性比較編

☐項目【１】の「挨拶の習慣」に関する設問。生徒は高評価だが、教職員は低めの評価となっています。生徒と教職員の認識に差が見られます。学校全体での取り組みを見直し、具体的な行動目標を設定したり、委員会活動と連携したりするなどして、生徒と教職員間で連携体制を整備していきたいと考えます。

☐項目【２】の「人権意識（差別しない態度）」に関する設問。生徒の自己評価が高い一方、教職員は課題を感じています。人権教育のさらなる充実に向けて道徳教育や体験活動を強化していくとともに、実態を踏まえた日常的な指導・支援を心がけたいと思います。

☐項目【６】の「家庭学習の習慣化」についての設問。教職員は比較的高評価だが、保護者は低めの評価となっています。教職員は日頃の取り組みを評価対象としている一方、保護者や生徒は結果を重視していることで認識に差があると考えます。保護者の不安を解消するため、取り組みと成果を３者間で共有するとともに、宿題の質・量の工夫や学習サポートの仕組みを整備すること、学校と家庭の連携を強化することで習慣化に向けて尽力していきたいと思います。

☐項目【７】の「定期テスト」に関する設問。生徒は「できている」と感じる割合が比較的高い一方、教職員は厳しい評価をしており、保護者も否定的な評価となっています。生徒の自己評価と教職員および保護者の評価に乖離があり、学習習慣の定着に関する認識差が課題と言えます。学習習慣の定着および生徒の自己評価と教職員・保護者の評価差を埋めるため、学習計画指導や家庭連携を強化する必要性があると考えます。

☐項目【１４】の「生徒同士のトラブルやいじめへ等の対応」に関する設問。生徒や教職員は高い割合で「適切な対応ができている」と感じている一方、保護者の評価はやや低めであることが示されています。このギャップは、学校の取り組みや対応が十分に伝わっていない可能性を示しています。学校としては、いじめやトラブルへの対応を最重要課題と位置づけ、日常的な指導や相談体制の充実に努めています。しかし、保護者の皆様にその取り組みや対応状況が十分に理解されていないことは、私たちの課題です。今後は、対応の方針や具体的な取り組みをより分かりやすく発信すること、保護者との情報共有を強化することに努めていきたいと考えます。また、日常的な連携体制を強化することで、安心感を高め、相談しやすい環境づくりをさらに進めることを目指してまいります。

☐項目【１５】の「ＩＣＴ活用」についての設問。生徒と教職員は比較的高評価であるが、保護者は低めの評価となっている。保護者への情報発信やＩＣＴ活用の見える化が不足している可能性が考えられます。保護者への情報発信を改善し、ＩＣＴ活用の効果を共有できるように努めたいと思います。